

## 平成 21 年度伝の心研修会開催要領

### 1. 目 的

ALS 等の重症神経難病により、意思の疎通が困難となる患者にとってコミュニケーション支援は重要であり、意思伝達装置（伝の心）は欠かせないものとなっている。

しかし現段階では、難病患者療養支援者の伝の心に対する習熟度は充分とは言えず、療養者の様々なコミュニケーション支援ニーズに対応していくためには、作業療法士等リハビリ専門職の協力が必要である。

そこで、各圏域で、難病患者・家族に対して伝の心の基本操作指導や入力スイッチの選択等対応方法を習得し、患者家族へのコミュニケーション支援に対応できる指導者を養成し、今後、全県的な伝の心ネットワークを確立していく事を目的として研修会を開催する。

### 2. 主 催：しまね難病相談支援センター

### 3. 対象者：県内のリハビリテーション関係者（理学療法士、作業療法士）、保健師等

1 会場 10 人程度 合計 20 人程度

※定員になりましたら、お断りする場合があります。

### 4. 日時と研修場所

・平成 21 年 11 月 2 日（月）18：30～20：30 出雲保健所

・平成 21 年 11 月 3 日（火）13：30～15：30 いわみーる

### 5. 内 容

#### 講義（30分）

「意思伝達装置と支援者の関わり方」

講師：島根大学医学部附属病院 作業療法士 竹下智香氏

#### 伝の心の説明（10分）

伝の心支給までの流れ、関連業者の紹介 難病医療専門員 佐藤尚美

（休憩時間、その間にデモ機の方に移動）

#### 体験（60分）

業者の方（フィリンク福田代表）から使用方法について説明を受けながら、実際に伝の心を操作していただく。

#### 質疑応答（10分）